

「まごめ通信」

駒込を愛する人びと「駒込人」が発行する
こまごめ通信。第三号の今回も、駒込人お気
に入りのお店や光景そして人を紹介します。
季節はずれの真夏日や、じつとり梅雨にも負
けない、素敵な駒込ライフをどうぞ！

茶店のカウンタから

ニュータイプのインスタグラマー。それが駒
込の整骨院にいるあゆみさんだ。あゆみさんは
店ができた当初からずっと、でも絶えずしっか
りと通い続けてくれている大切な常連さん。

あゆみさんの生活はこうだ。院の受付
を色づかせる花を徒歩三分の「89's Flower
(MAP①)」で買う、休憩時間には「百塔珈
琲(MAP②)」で時間を過ごし、コーヒー
を待つ間、気になった雑誌を向かいの「フタ
バ書店(MAP③)」で買ってくる。スーパー
「サカガミ(MAP④)」のお惣菜をくまなく
チェックして気になる商品をふたつ買っては
ひとつをわたしにくれ、大切な日のディナー
を「cafeT(MAP⑤)」で予約して、年末の
お休みにはおせち料理を「レリッシュクラフ
(MAP⑥)」までわざわざ家から自転車で行
いに出でくる。

あゆみさんはインスタグラムが好きだが、
インスタグラムのために人気の有名な店に行

くのではなく、自分の足で日常的に行く店を
魅力的にみせるニュータイプのインスタグラ
マー、インスタグラマーなのだ。きちんと目
の前にあるものを手にとって評価して、「オー
ガニック!」「スローライフ」「タピオカ!」
とか騒ぐでもなく淡々と、でも静かで確かな
愛情を持って駒込と接している彼女から学ぶ
ことはとても多い。

しば田ゆき(百塔珈琲 Shimofuri 店長)

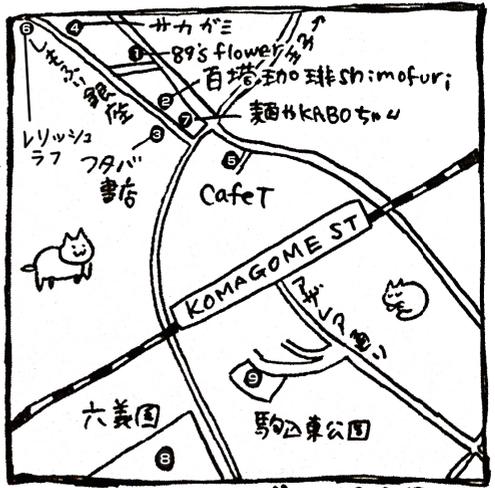


織田博子(駒込在住のマンガ家)

ねこと駒込と私

駒込という街においてねこ達が担っている
役割は特別だ。

平成も終わろうというこの時期(この文章
が掲載される頃には平成が終わっているかも
しれないが)に、未だどことなく昭和の香り
漂う駒込の道を歩いていると、いたるところ
でねこを見かける。そういう街は探せばいく
らでもあるが、駒込は他の街とはちよつと違
う。駒込でねこを見かける時は、人間がね
こに話しかけたり、人間の後ろをねこがトコ
トコ付いて歩いているといった光景が必ずと
言っていいほどセットなのだ。前提として、
街に住むねこ達は大抵警戒心が強く、人間に
近寄ってくる事など殆ど無い。なのに、駒込
では他の街では見る事のない光景が当たり前
のように日々繰り返されているのである。
そんな光景を観察していたり、自身がそ
の光景の一部であると「あら〜かわいいわね
〜」などと、これまた必ずと言っていいほど
おばあさんに話しかけられる。普段は関わり
のない人との接点で、ねこの存在によって当
たり前のように作られ始める。そこで会話を
続けていると、ねこを見つけた子供、カップ
ル、散歩中のおじさんが集まってきたりして、
ちよつとした交流イベントのようになってし
まう事もしばしば。そうしてねこを中心とし
た、老若男女が分け隔てなく繋がれる魔法の
ようなコミュニケーションが日々生まれているのだ。



6月号のこまごめMAP

みたい」って思うこと、ありませんか？
実は私もその一人。森林浴の気分になると足を運ぶのは、六義園から数分歩いた住宅街の中にある「駒込東公園(MAP⑧)」です。

この公園には珍しい特徴があります。園内に高低差があつて、坂や階段がいたるところに。まるで小さな山のように。そして大きな木々がトンネルみたいに茂っているの、なんだか本当に山奥に来たみたいなきな臭い気分が味わえます。大通りから少し奥まっているので、静かなときは葉っぱのこすれる音しか聞こえません。

この公園の木多くはソメイヨシノ。桜の季節はピンク色に染まったトンネルが現れ、最高のお花見スポットになります。園内は高低差があるため他の利用客が見えにくく、自分たちが桜を独り占めしている気分。レジャーシートを敷いて、駒込駅前の「ひろすけ」で購入したたき焼きを食べるのが好きです。

夏は新緑が美しく、秋は紅葉が楽しめます。冬は：寒くても元気にブランコをこいでいる子どもの声に元気をもらえます。

でも、意外に私が好きなのは、この公園の夜。恋人がベンチで語らっていたり、ちよつと落ち込んでいる雰囲気のスーツの男性に地域猫が寄り添っていたり。なんだかこの小さな森の中には、いろんな人間ドラマがあるような気がしてなりません。

上野舞(駒込好きすぎ編集者)

一つの街の何気ない日常にすぎないかもしれないが、「それ」があつてこそ、街に漂う独特の空気が生まれ、駒込という街を作っている気がしている。

ちなみに「駒込人」は自分だけのお気に入りねこスポットを持つている事が多いです。駒込に店を構えている人に聞いてみると、教えてくれるかもしれませんよ(秘密にしたがる人も多いですが笑)。

えだまめ(フリーライター)

遊具に囲まれた小さな森

駒込といえば、有名なのは「六義園(MAP⑧)」。桜の時期は多くの人で賑わいます。でも「行列とは無縁の静かな場所」で自然を楽しむ

駒込を楽しむ隊

フェイスブックのグループ「駒込を楽しむ隊」では、日々駒込のホットなトピックスでいっぱい。気になっていたらけど人ったことのないレストランや、何年も住んでるのに知らなかったお寺などを知ることが出来ます。

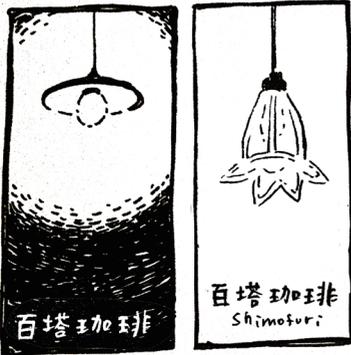
フェイスブックで「駒込を楽しむ隊」で検索してみてください。どなたでも参加できます。駒込を楽しむ隊のウェブサイトもご覧ください。こちらはこれから情報を充実させていきます。

編集後記

「こまごめ通信」発起人のしば田ゆきさんが、百塔珈琲 Shimofuri 店を退職されとのこと。こまごめ通信の打ち合わせや、駒込を楽しむ隊オフ会などで場所をお借りし、大変お世話になりました！新たな門出、応援しています。

発行：駒込を楽しむ隊 編集：織田博子、くれまちこ
協力：百塔珈琲 Shimofuri

連絡先：komagome@meetsmeals.com
駒込を楽しむ隊 オフ会：毎月第一日曜 二〇：〇〇〜
開催中。詳細はFBページで。



百塔珈琲 Instagram →

次号の広告募集集中!!

